

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

今はコミュニティ・スクール

校長 藤田 康伸

見初小学校は昭和5年、「見初尋常小学校」の名称でスタートしました。その後、見初国民学校等の名称を経て、昭和25年には現在の見初小学校となり、平成24年からは時代の流れを反映して、「コミュニティ・スクール」として、教育活動を展開しています。

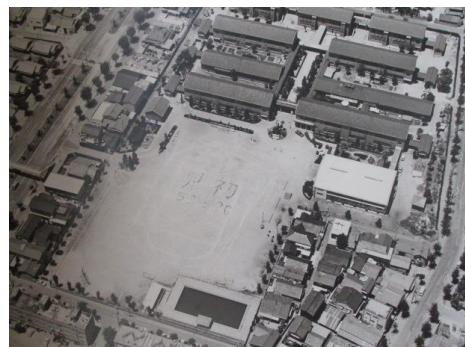
コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校であり、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組み、子どもたちのために「地域とともにある学校づくり」をめざす仕組みです。

地域との連携は昔からありましたが、目標を共有することや地域を交えて学校運営について具体的な協議の場がもたれていること等が大きな特徴です。

また「学校を核とした地域づくり」という言葉もありますが、これは学校の教育課程に沿って、できるところで地域貢献をしていくもので、宇部市では社会教育推進委員会等が活動主体となり、放課後子ども教室や地域での体験活動等が行われています。

この両輪を回すことで継続可能な地域連携教育を進めていき、どこに行っても地域を愛し、愛される子ども（人）を育てていきます。

本校でも育てたい子ども像を地域と共有し、様々な取組を行ってきたところです。コミュニティ・スクールの機能を生かした日々の活動は、決して目立つ活動ばかりではないかもしれませんが、子どもたちの心に残る活動であると確信しています。



昔の見初小学校

わくわく楽習後の
コムスクルームでのひととき学校運営協議会委員の
研究授業への参加小・中・地域合同の
清掃活動（地域貢献）わくわく楽習
（学校支援）